

LESSON 24

システム移行のタスクリスト（全50件）の状況をまとめると、IT部門や外部ベンダーが主導するシステム・インフラ関連の開発・テストは概ね順調に完了していますが、特定の担当者の不在により業務側のタスクが大きく遅延し、本番移行スケジュールに深刻な影響を及ぼしている状況です。

タスクの全体的なまとめは以下の通りです。

1. 全体の進捗状況

- ・ 完了（27件）：環境構築、データ移行設計、各テスト（単体・結合・性能）、本番データ移行リハーサルなど、主にIT推進部や外部ベンダーが担当するタスクの多くは完了しています。
- ・ 進行中（3件）：移行データ整合性検証やIT部門向け運用引き継ぎなどが現在進行中です。
- ・ 未着手（13件）：本番移行実施や旧システム停止、移行後のモニタリングなど、今後のフェーズのタスクが該当します。
- ・ 遅延（7件）：以下のボトルネックにより、重要度の高いタスクが滞っています。

2. 現在の最大の課題（重大なボトルネック） 業務推進部の中村 光氏が育児休暇を取得し、後任が未定のまま放置されていることが、プロジェクト全体の最大のボトルネックになっています。中村氏が担当する以下のタスクが停止・遅延することで、後続の重要タスクに連鎖的な遅延が発生しています。

- ・ 操作マニュアルの未完成（T008の遅延）：これにより、「ユーザー受入試験（UAT）」（T015）が開始できず、第1回ユーザー研修（T022）も延期されています。
- ・ 既存帳票レイアウト確認の停止（T010の遅延）：これにより、必須条件となっている「帳票出力テスト」（T018）が開始できない状態です。
- ・ 新旧コード対照表作成の完全停止（T032の遅延）：UATの実施に必要な資料が揃わず、また「内部監査対応資料作成」（T037）も作成できない状態に陥っています。

3. 本番移行に向けた懸念事項 現時点で、IT推進部の田中 勇一氏が担当する「本番移行実施」（T019）や「移行スケジュール最終確認」（T034）は、遅延しているUATや帳票テストの完了待ちとなっており、今後のスケジュールが変動するリスクを抱えています。また、運用引き継ぎ（T040）が完了する前に本番移行を迎えてしまうリスクも指摘されています。

このように、業務側のタスクのリカバリーが急務となっています。この課題について、特定の担当者（中村氏や田中氏など）のタスクのみを抽出して詳細な報告書を作成しましょうか？